

札幌皮膚病理研究所ニュース



2006年7月号

太陽の日差しが強い季節です。紫外線対策をしなければ。

「皮膚病理講座 基礎編 大阪会場」のようす 講師：木村鉄宣、安齋眞一

6月24日、25日 大阪市立大学阿倍野キャンパスにてセミナーを開催。



会場は参加者の皆様でぎっしり。



ふむふむ・・・



目次、用語集、ハンドアウト1・2・3
お役立ちの資料です。



6月25日、2日目の皆様。
集中力を保たれています。



質問がたくさん出ます。

大阪市立大学の皆様、ご協力有難うございました。

お別れ会 於 金魚楼

2年間一緒に働いてこられた福本先生、
6ヶ月の間研修を続けられた伊東先生が
札幌を立ちます。



札幌はいいところ、
また戻ってきてください。

→ 伊東先生と奥様。



↑ みんな入って
ますか～？



← いつも仲良し
福本先生ご夫妻。

今後のスケジュール



- 2006.7.1 (土) - 2 (日)
第2回近畿ダーモスコピー研究会
会場 大日本住友製薬(株)大阪本社7Fホール
講演 木村鉄宣
演題 色素性病変の臨床皮膚病理について
※先月号で、会場を「近畿大学奈良病院」と記載しましたが
正しくは「大日本住友製薬(株)大阪本社7Fホール」です。
お詫びし訂正いたします。

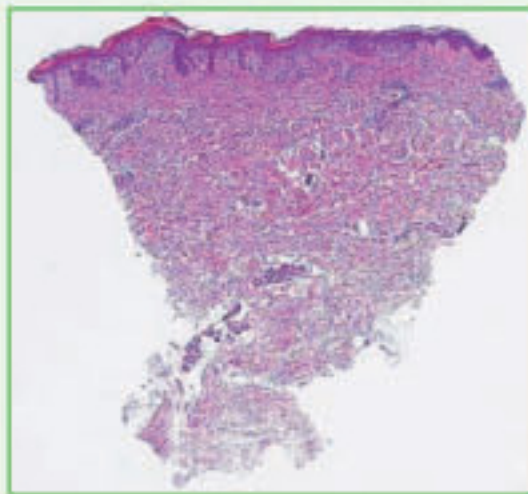
セミナー開催
残席残りわずか

- 2006.7.22 (土)
第22回日本皮膚病理組織学会
会場 東京・エーザイホール
演題発表 福本隆也

- 2006.7.23 (日)
札幌皮膚病理研究所主催セミナー
三位一体セミナー：
Melanocytic lesions 色素細胞性病変
会場 東京中央区日本橋 興和ホール
※裏面の案内をご覧ください！

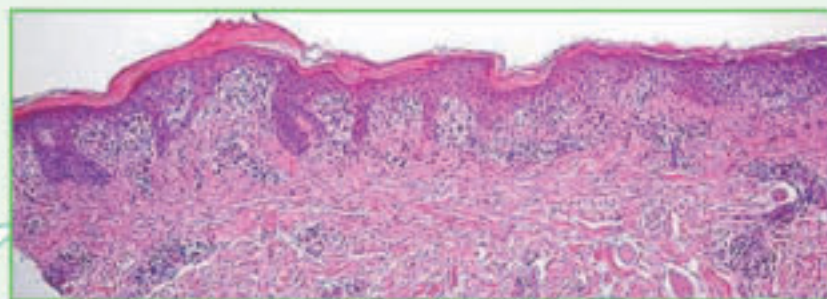
今月の症例

38歳女性 生検部位：四肢
臨床診断：Sjogren's syndrome
病理組織診断：MUCHA-HABERMANN'S disease, early lesion

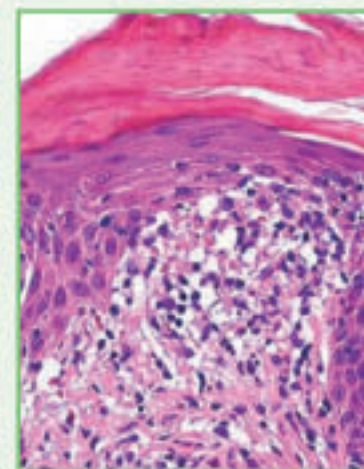
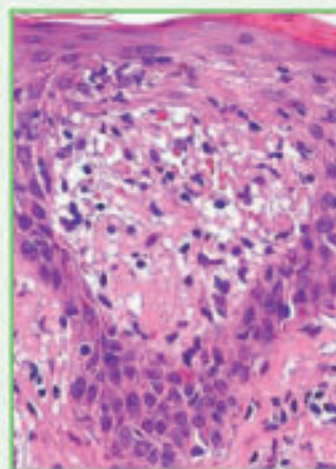


真皮上層に帯状の炎症細胞浸潤があり、角層は肥厚している。

血管周囲だけでなく、膠原線維間にも炎症性細胞浸潤があり、真皮表皮境界部は浸潤した炎症細胞で不明瞭になっている。



炎症性細胞はリンパ球と組織球が主体で、赤血球の血管外漏出もある。表皮には炎症細胞と壊死した角化細胞がある。炎症細胞の浸潤密度が低いので、早期病変である。



セミナーのご案内

各セミナー開催日1ヶ月前までのお申込みには早期申込割引が適用されます

Melanocytic lesions色素細胞性病変： 三位一体セミナー

- 臨床像、ダーモスコピー像、そして皮膚病理組織像を比較検討する —

開催日 2006年7月23日（日）
会場 東京、興和ホール
参加費 15,000円
講師 大原 國章先生（虎の門病院皮膚科）
田中 勝先生（東京女子医科大学東医療センター皮膚科）
木村 鉄宣（札幌皮膚病理研究所所長）
運営・司会 小野 一郎先生（札幌医科大学皮膚科）
安齋 眞一（札幌皮膚病理研究所副所長）

皮膚病理診断学入門

- 目的
- ・各種皮膚疾患の病理組織像を理解します。
 - ・皮膚病理診断学の3要素、診断基準項目、診断の手掛かり、そして鑑別診断を具体的に把握します。
 - ・皮膚病理診断の方法「パターン分類とアルゴリズム解析」を理解します。

開催日 2006年9月23日（土）、24日（日）
開催地 東京、興和ホール
参加費 32,000円
講師 木村鉄宣

第14回札幌皮膚病理セミナー

—世界の皮膚病理学と皮膚病理医—

世界で活躍する、一流の皮膚病理医を招いて開催するセミナーです。今年にはNYU教授のカミノ先生にお越しいただきます。

開催日 2006年12月1日（金）[特別講演]
2日（土）、3日（日）[セミナー]
会場 北海道大学臨床大講堂
参加費 32,000円
講師 Hideko Kamino, M.D.,
(Professor of Dermatology and Pathology / NYU school of Medicine)

新着情報はホームページ（www.sapporo-dermpath.com）で随時紹介されます。

札幌皮膚病理研究所

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842
e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: <http://www.sapporo-dermpath.com>

編集担当：佐藤 尚子